

がんセンターNEWS

Aichi Cancer Center News

「サルコーマセンター」を開設しました



愛知県がんセンター
中央病院 整形外科部長
同 サルコーマセンター長
筑紫 聡

～開設にあたって～

肉腫（英語でsarcoma・サルコーマ）とは骨・筋肉・神経・血管・脂肪などに発生する悪性腫瘍（がん）の総称です。5大がん（胃癌 肺癌 大腸癌 乳癌 肝臓癌）と比較して発生頻度が極めて低く、希少がんと言われています。そのため肉腫を専門とする医師（整形外科医・薬物療法医・病理医）も極めて少ないため、多くの施設で診断に難渋し「忘れられたがん」と呼ばれています。肉腫の治療には専門施設での集学的治療が必須で、症例を専門施設に集約して治療することが望まれています。このような背景から愛知県がんセンター中央病院に平成28年10月に東海地区で初めてサルコーマセンターを開設しました。

当院は整形外科部を中心に、東海地区の多くの肉腫患者さんの診療に従事し、肉腫の診断と治療に精通した整形外科医・薬物療法医・病理診断医・形成外科医の充実した全国でも数少ない施設です。

肉腫は四肢だけでなく頭頸部や体幹部や後腹膜など体のあらゆる部位に発生するため、「どの科を受診すべきかわからなかった」という意見を多く聞きます。また適切な診断がされないまま複数の医療機関や複数の診療科を経て当院を受診される方が少なからずいます。このような患者さんが迷うことなく速やかに当院を受診して安心して集学的治療を受けていただくことが我々の使命だと思っています。複数の診療科が密接な連携をとりチーム医療としてあらゆる場所にできた肉腫患者さんの診断から治療にあたります。

全国の専門施設との臨床研究を強化し、標準治療の確立や新規治療法の開発に全力で取り組んでまいります。今後とも皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

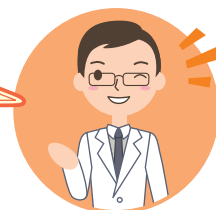
サルコーマ外来受診予約

- 予約可能日
月曜日・火曜日・水曜日・金曜日
- 予約方法
診療情報提供書をFAXする
- FAX先
医療連携室
052-764-9897
- * 詳細は当院ホームページ
「医療連携システムご利用の手引き」
をご参照ください。



サルコーマセンター スタッフ一同

内視鏡検査の予約システムをご利用ください



日頃より愛知県がんセンター中央病院の内視鏡室をご利用頂き、ありがとうございます。さて、この度平成28年6月20日から外部医療機関からの内視鏡検査の予約が電話あるいはFAXにて“直接”可能となりました。これまで内視鏡検査を目的にご紹介頂いた患者さんは、初診で検査予約を行い、検査当日、そして結果説明と少なくとも3回当院へ受診して頂く必要がありましたが、このシステムを利用することで受診回数は最短で1回に減らすことが可能となります。

対象となる検査は、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）と下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）です。どちらの検査もご依頼から1～2週間以内のご案内ができるように努めています。検診での胃の異常や便潜血検査陽性など検診異常に対する二次検診等で是非ご利用ください。患者さんからの直接の予約はできませんので、希望される方は、お近くの医療機関へご相談ください。

当院では、最先端の内視鏡機器を備え、最高の技術を提供できるよう常に心がけています。狭帯光観察（NBI）を代表とした画像強調観察や拡大内視鏡観察を積極的に取り入れ、消化管のがんの正確な診断を行っています。また、患者さんの苦痛を減らせるように、希望される方には、安全に十分に配慮した上で鎮静剤を適宜使用しています。がんセンターという名前から、「紹介しづらい」「受診しづらい」という声をよく聞きますが、この機会に是非当院をご利用ください。詳しくは当院のホームページをご覧ください。医療連携室へご連絡ください。

(内視鏡部長 田近 正洋)

		月	火	水	木	金
午前	上部消化管内視鏡検査	○	○	○	○	○
午後	下部消化管内視鏡検査	○	○	○	○	

【受付】医療連携室 (TEL:052-764-9892 FAX:052-764-9897)

【予約】お電話かFAXでご相談ください。月～金：9時～19時、土：9時～13時

【結果説明】患者さんが結果を聞く場所を、貴院ががんセンター中央病院でお選びください。

【病理結果】検査レポートは数日以内、病理結果は1週間前後に郵送でお送りいたします。

【その他】お手数ですが、下部内視鏡をご予約される場合は、検査前夜の大腸刺激性下剤（例：ピコスルファートナトリウム15滴やセンノシド2錠相当）の処方をお願い致します。

～内視鏡室の風景～



安全面にも配慮した最新の設備で、患者さんに安心して検査を受けて頂きます。



内視鏡室は、医師・看護師・受付・内視鏡の洗浄スタッフみんなの協力で成り立っています。

将来看護師を目指す機会となりました！～高校生1日看護体験研修～

8月3日、愛知県内で一日看護体験研修が開催されました。この研修は、これからの社会を担っていく世代に看護の心を知ってもらうとともに、この体験を契機として看護職を志望する人が増えることを願い、毎年1回行なわれています。

当院においても、男子学生4名を含む48名の高校生が、参加してくれました。研修に先立ち、学生服から白衣に着替えた彼女らは、緊張の面持ちでしたが、ちょっぴり嬉しそうでした。4～5名に分かれ、医療・看護の現場に向かいました。そこでは、病棟看護師とともに患者さんとお話をしたり、車いすや寝台車を動かす体験をしました。お互いの血圧を測る眼差しは真剣でした。



研修を終えた高校生からは、「大変さと同時に素晴らしい職業だと感じた」「看護師さん、格好よかった」など沢山の言葉をいただきました。中でも「さらに看護師になりたい気持ちが強くなった」というメッセージは、嬉しくもあり頼もしく感じました。いつかどこかで看護師仲間として出会うことを願っています。

2016年度「高校生基礎実験体験講座」開催

愛知県がんセンター研究所では、毎年夏に「高校生向け基礎実験体験講座」を開催しています。本年度は合計58通の応募をいただき、抽選により選ばれた12名の高校生らを対象に、8月3日に体験講座を実施しました。高校生らには、イヌ腎臓上皮由来のMDCK細胞に発がん性物質を添加してもらい、細胞が大きく形態変化する様子を観察してもらいました。また、免疫細胞染色法を行い、共焦点レーザー顕微鏡を用いて細胞の微細構造の変化を鮮やかな蛍光で観察しました。

体験講座を終えた高校生らからは、学校では体験できないようなことを体験することができてよかった、めったにない体験ができて楽しかった、といった意見が寄せられ、今回の実験についてすべての高校生らから、面白かったという感想をいただきました。今後も、近隣地域在住の高校生らを対象に、生命科学の面白さやがん研究の重要性を理解していただけるイベントを開催していく予定です。



ご参加いただいた高校生の皆さんと



高校生体験実習の様子

患者さん、登録医、がんセンターをつなぐホットな1頁

とうろく医探訪 No.1

Produced by
地域医療連携・相談支援センター

医療法人足立内科 院長：足立昌由先生



がんセンターの先生方、スタッフの皆様方、日頃より病診連携を通じお世話になり、また医師会活動にご協力いただきましてまことにありがとうございます。

足立内科は地下鉄本山駅 2 番出口徒歩 1 分、本山交差点に位置します。内科・循環器内科・小児科を標榜し、生活習慣病である高血圧症、糖尿病、脂質異常などの管理を行い、心血管疾患の一次予防（病気を起こさない）および二次予防（再発予防）を中心に行っています。患者さんが病気を理解し、納得して治療を受けて頂き、当院を利用してよかったと満足してもらえるよう心がけています。

さて愛知県がんセンターは、国の内外に誇り得るがん医療の中心的施設です。かつて私共にとりがんセンターは患者さんを紹介するにはハードルが高いという印象を持っておりましたが、千種区医師会執行部として活動してみますとがんセンターの先生方の病診連携に対する熱意を感じこれに応えなければならないと考えるようになりました。がんに関し、高度医療を担うがんセンターとそして先生方と信頼しあえる病診連携を発展させるために、地元千種区医師会長として、そして中部地区がん医療連携学術研究会の代表世話人としてその任を担って参る所存です。

今後とも地域医療に貢献するため努力して参ります。皆様のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

【医療機関情報】

医療法人 足立内科

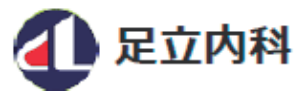
診療科目／内科、循環器内科、小児科

電話／052-783-0078

所在地／464-0807

名古屋市千種区東山通 1-12

URL／<http://www.adachi-naika.com/>



	診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後	17:00-19:00	○	○	/	○	○	/	/



編集後記：今号より始めました「とうろく医探訪」、記念すべき第1回は千種区の足立内科、足立先生をご紹介させて頂きました！先生の誠実なお人柄が、スタッフ様や院内、ホームページ等からも伝わってくる素敵なクリニックです。これからもよろしくお願い致します！<Y.SANO>

がんの流行をモニタリングする！

～研究所 疫学・予防部～

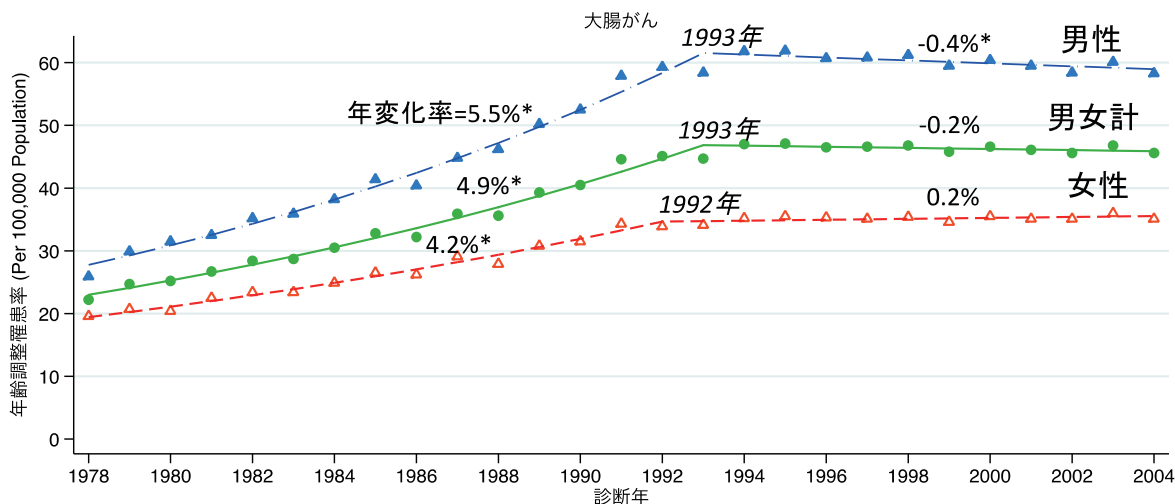


疫学・予防部長
田中 英夫

疫学・予防部では、愛知県がん登録事業に深く関わり、県内のがんの罹患率、死亡率の動向や生存率の地域較差の分析に取り組んでいます。このような記述疫学データによって、愛知県のがん対策の立案と評価に貢献しています。

また、当部の伊藤秀美がん情報研究室長を中心とするグループは、愛知県を含む全国10の府県の地域がん登録データを収集し、全国の大腸がん罹患率のトレンドを人口高齢化の影響を除いて分析しました。その結果、戦後の高度経済成長期以後も増加していたものの、1990年代には増加傾向が横ばいに転じていたことがわかりました。(図, Nakagawa H. et al. EJCP, 2016)

日本人の食事等の欧米化したライフスタイルは1970年代にはほぼ定着したことや、90年代の大腸ポリペクトミーの普及が関与しているものと考えられます。がん罹患の動向は、予防対策の評価や今後の医療需要の推計にとっても重要となります。

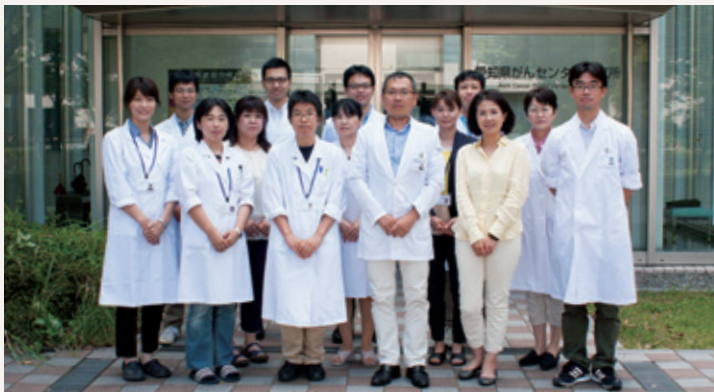


日本人の大腸がん年齢調整罹患率の推移 (Nakagawa et al. 2016)

研究員の紹介

研究所～遺伝子医療研究部～

遺伝子医療研究部は「遺伝子」をキーワードに、個人に合わせたがん予防・がん医療を開発する研究を行っています。がんは生活習慣を始めとする環境要因の積み重ねによって起こりますが、遺伝子で決まる自身の体質が環境要因の影響の大きさに影響を与えている事を明らかにし、予防法を開発します。また我々は悪性リンパ腫などの血液の悪性疾患の遺伝子に端を発する発がんメカニズムを明らかにする研究も行っております。



- 後列左から：井上秀作（リサーチレジデント）、澤部倫（研修生）、正岡寛之（リサーチレジデント）、鷗飼知嵩（研修生）
 中列左から：花岡生久子（秘書）、平野京子（嘱託技師）、森川郁美（秘書）、佐藤征子（実験補助）
 前列左から：中田舞（研究技師）、春日井由美子（研究技師）、片山幸（主任研究員）、松尾恵太郎（部長）、伊藤秀美（室長）、垣内辰雄（研修生）

乳腺科の紹介と最近の取り組み

中央病院 ～乳腺科部～

乳腺の病気は、がんや良性の腫瘍、炎症などがあります。乳がんは2011年の日本人における統計では約72,500人が罹患（りかん）し、女性のがんの中で最も多く、全体の約20%を占めています。乳がんは30歳代から増加をはじめ、40歳代後半から50歳代前半でピークを迎え、その後は次第に減少します。

当院の乳腺科は11名のスタッフで診療しています（写真）。年間約450人の患者さんが当科で手術を受けています。乳がんの治療は日々進歩し、乳がんの個性に合わせた治療、個別化が進んでいます。どのようなタイプ（性格をもった）のがんなのかということと、患者さんの診断された病期（進み具合）をみて、患者さん個々に治療計画を立てます。多くの場合、手術治療、薬による治療、放射線による治療を組み合わせで行います。最近の傾向としては、手術において乳腺を全部切除する方法（全摘術といいます）の場合、同時に再建（乳房を自分のおなかや背中組織で作ったり、人工物で作ったりすること）を行う患者さんが増えています。比較的若い患者さんの多くが希望されるようになってきていること、健康保険で行えるようになったこと、安全性が高まっていることが背景に挙げられます。手術前にMRIを行い、どこからどこまで切除が必要かという見極めや、皮膚と乳頭は残せるかどうかを、患者さんごとに検討しています。薬による治療は、まさに個別化が進んでいます。がんのタイプに合わせて、分子標的治療など最新の標準治療を行い、その上で新たな有望な治療薬（治験といいます）の選択肢があれば、できる限り提示しています。また遺伝の素因が強い乳がんである、乳がん卵巣がん症候群は、日本人乳がんの5-10%程度に認められます。当院では専任の遺伝カウンセラーを常駐し、必要に応じてカウンセリングのできる体制を整えています。

当院ではチームワークを重視し、看護師や薬剤師、他の専門医師（形成外科、整形外科や放射線治療部など）とも強く連携をしています。皆で力を合わせて、患者さんに最先端で安心・安全な医療を提供してまいりたいと存じますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

乳腺科医師 一同



（乳腺科部乳腺診療科医長 澤木 正孝）

診療医の紹介

中央病院 ～消化器内科部～

愛知県がんセンター中央病院 消化器内科は、スタッフ医師4名、レジデント医師10名、海外留学生2名、計15名で診療を担当しています。診療の中でも特に肝胆膵疾患を専門としています。診断も治療も困難とされてきた膵臓癌、胆道癌などの確定診断、特殊内視鏡治療、化学（放射線）療法、超音波内視鏡を用いた最先端の治療などを得意としています。診断困難な病変の診断、腫瘍マーカー高値の全身検索も担当していますので、ご相談いただくと幸いです。

難治癌である膵臓癌や胆道癌が治る時代が近づいています。最高の医療を提供することをお約束いたしますので、ご相談いただくと幸いです。



上段左から：肱岡範（医長）、水野伸匡（医長）、原和生（消化器内科 部長）、奥野のぞみ（医長）
 中段左から：渋谷（レジデント）、藤田（レジデント）、近藤（レジデント）、鳥山（レジデント）、鈴木（レジデント）
 下段左から：平山（レジデント）、松本（レジデント）、倉岡（レジデント）、伊東（レジデント）、岩屋（レジデント）

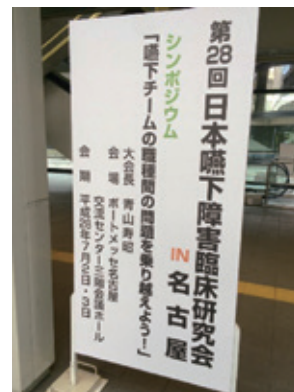
『日本嚥下障害臨床研究会』開催！ ・・・「食」を考え熱く討論しました。

中央病院 ～看護部～

第28回日本嚥下障害臨床研究会を7月2日（土）・3日（日）にポートメッセなごやで開催いたしました。全国から多職種が集まり、「嚥下チームの職種間の問題を乗り越えよう！」をテーマにシンポジウムを開催。参加者数は288名、演題も19題集まり白熱したディスカッションが行われました。この研究会は14年前に私が嚥下障害に関わるきっかけになった研究会で、大会長をさせていただいた事はとても光栄に思っています。

摂食嚥下障害は複数の職種が関わる必要があり、効果的なチーム活動は各職種のマネージャーが円滑に職種間の調整を行うことが重要であることを感じました。

愛知県がんセンター中央病院では、看護師が中心となり摂食嚥下障害に関わっています。近年は院内の言語聴覚士や理学療法士の人数が増えていますので、がんリハビリテーションでも有効なチーム活動ができればと考えています。



(看護部5 東師長 青山 寿昭)



スタッフの紹介

中央病院～放射線診断・IVR部（放射線技術室）～

放射線技術室では、X線撮影・CT・MRI・核医学検査・マンモグラフィなど診療に寄与する画像を提供するとともに、IVR（針やカテーテルを用いて画像誘導下に行う経皮的診断および治療）においてリアルタイムの画像支援を行っています。女性4名を含む15名の技師は、それぞれCT・マンモグラフィ・IVR・医療情報・放射線取扱主任等の認定資格を取得し日々の業務に役立て、医師・看護師・クラークと協力し、質の高いチーム医療を目指しています。



松島室長（前列右から3人目）と技術室スタッフ

がん征圧講演会を開催しました

●日時：平成28年9月3日（土） ●場所：愛知県がんセンター国際医学交流センター

がんセンターでは、県民の皆様を対象とした公開講座を年6回開催しております。特に「がん征圧月間」である9月には、がん征圧講演会として開催しており、本年度も残暑厳しい中、会場にはたくさんの方々が足を運んでくださいました。今回は、「がんと共に生きる2016～研究から実践まで～」をテーマに、最先端の研究や治療、緩和ケア、相談支援について研究所・中央病院の医師・看護師が講演を行いました。講演終了後は、参加者の皆様からたくさんの質問を頂戴し、がんに対する意識の高さを感じました。



熱心に耳を傾ける参加者のみなさん

医療連携室のご案内

対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)
電話	052-764-9892 (直通)
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)
ホームページ	http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/ 中央病院トップページ右手にある「医療連携」のバナーをクリックしてください。 利用の手引や様式など、詳細を掲載しております。

外来診療案内

受付時間	午前8時30分～午前11時30分 (自動再来受付機による受付は午前8時からできます。)
休診日	土・日・祝日、年末年始
診療科	消化器内科、呼吸器内科、循環器科、血液・細胞療法科、薬物療法科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、眼科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、緩和ケア科 (精神腫瘍科・リンパ浮腫外来・ペインクリニック)
外来診療担当医一覧	毎月1回、月初めに更新しています。詳しくはホームページをご覧ください。
休診情報	お電話またはホームページでご確認ください。

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始を除く)
※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)
※精神腫瘍科は、予約のみの対応です。

交通のご案内

★公共交通機関のご案内

地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩4分

★車でのご案内

◎一般道路

本山交差点から北へ約10分、平和公園の北西

◎高速道路

東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

※詳しくはホームページをご参照ください。



愛知県がんセンター Tel.(052)762-6111 Fax.(052)764-2963
〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

愛知県がんセンター

検索